

近世人物誌

やまもと新聞附録

伴林六郎光平
 伴林六郎光平ハ萬齋と号す初めの僧侶ありが後髪を蓄はへて和州斑鳩の里に住すよりて又群鳩隠士と号す最も和歌を巧みせしが愛國の志深りしを以て大和の義舉ふ加はりしが既して天の川辻の陣敗き一軍十津川郷を退き保せし時孝根藩の兵來り襲ひしに光平鎗を提げ少壯の士よお混し將に敵軍を赴らんとす此日恰も九月九日ありけま光平今を盛りと谷陰咲満ちたる菊の花を一本手折りてさかかづの身をしてふかしの折にまきつり大まきし菊を折がさし



發行所 東京 京橋区 中泉町二丁目 或馬 中泉政太郎
 やまもと新聞社



活字